

## 8 工事写真撮影

### 8.1 目的

工事写真は、施工管理の一つの手段として用いられるものであり、各施工段階における施工状況等の記録を残すとともに、工事完成後に明視できない箇所の出来形を確認する資料となるものである。

また、工事完了後において、問題が生じた場合の重要な証拠資料となる。したがって工事写真は、目的に応じで適切に撮影しなければならない。

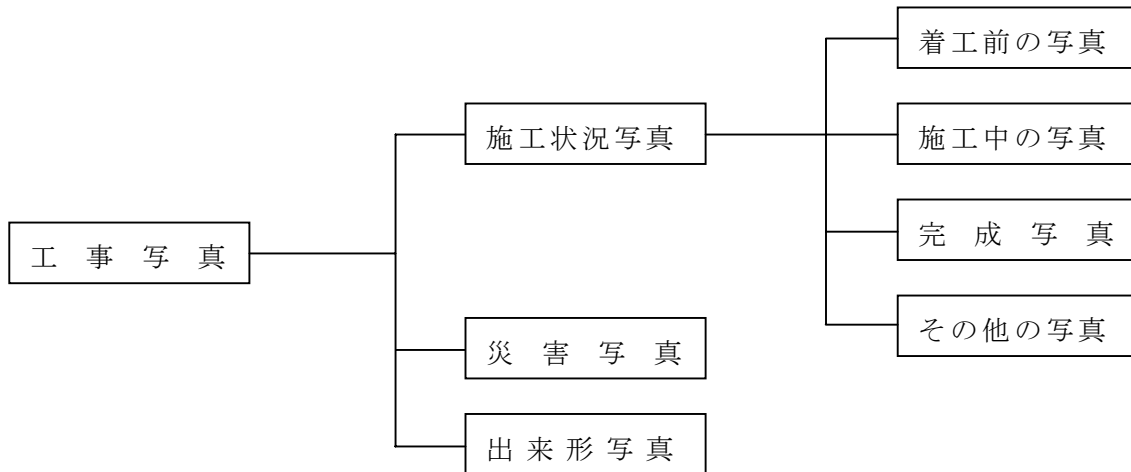
### 8.2 撮影の要点

写真は請負契約書、設計書、図面、並びに仕様書に基づいて、工事が適正に施工されたことを立証する重要な資料となるものであるから、次の点に注意して撮影しなければならない。

- 1) 工事内容を十分に理解し、写真の目的をはっきり把握して撮影すること。
- 2) 着工前から完成迄の写真は、各種別毎に同一地点を、同一ヶ所から撮影すること。
- 3) 配給水管、構造物等の形状寸法がはっきりわかるように箱尺・ポール等をあてて撮影すること。
- 4) 写真には、撮影年月日・撮影ヶ所・簡単な説明文を記入すること。

### 8.3 写真の種類

工事写真の種類は次のとおりとする。



#### 1) 着工前の写真

工事着工前の附近の風景、構造物等の現況を入れ工事区画全体の状況が判定できる写真をいう。

- (1) 止水栓・メータボックスの設置予定箇所が入った現況写真。
- (2) 公道工事がある場合は、道路の状況写真。

#### 2) 施工中の写真

管布設・主要構造物・特殊工法・仮設物等を種別毎に撮影した写真をいう。

- (1) 各測点及び変化点毎に土被り・舗装・管径等を撮影する。
- (2) 施工地点の周囲の状況が判定できるように撮影する。
- (3) 使用機械の稼動状況・機種が判定できるように撮影する。

#### 3) 完成写真

完成写真は、次のとおりに分類される。

##### (1) 全景写真

工事着工前の写真に準じて分類される。

- (2) 部分完成写真は、種別ごと又は、主要構造物ごとに撮影し、着工前の写真と同一方向から撮影する。
  - (3) 止水栓及びメータボックスが、敷地及び建物のどの位置に設置してあるか確認できる写真。  
また、設置位置を境界及び建物から箱尺等で測定している写真。
  - (4) メータボックス及びメータの蓋を開け、メータ及び逆ボ止水栓ユニオンの両端及びメータの取付方向がボックス内で確認できる写真。
  - (5) 止水栓ボックスの蓋を開け、止水栓スピンドルの位置がボックスの中心にあることが確認できる写真。
  - (6) 水道番号を需要家宅に貼付している写真。
- 4) その他の写真
- 保安施設（交通処理状況・事故対策施設）等を撮影した写真をいう。これらの写真は事故が発生した場合の原因究明、現場の安全管理状況の証明用として、撮影しておかなければならない。
- 5) 出来形写真
- 地下等に埋設された配管や構造物の出来形を確認する写真をいう。
- (1) 管布設・舗装復旧・その他道路中心線に沿ったものは原則として測点毎に、掘さく深さ・土被り・巾・高さ等が明確に確認できるように、箱尺等をあてて撮影する。
  - (2) 構造物については、配筋の状況、コンクリートの出来上り寸法等が確認できるように撮影する。
- 6) 災害写真
- 災害とは天災地変・その他不可抗力による損害の場合を指し、請負工事施工中にこれらの災害が発生し撮影した写真をいう。

#### **8.4 写真の色彩**

写真は原則としてカラーとする。

#### **8.5 写真の大きさ**

写真の大きさは、原則として、サービスサイズとする。ただし、次の場合は、別の大きさとする。

- (1) 着工前、完成写真等のつなぎ写真とした方がよいもの。
- (2) 監督職員が指示するもの。

#### **8.6 工事写真帳の大きさ**

工事写真帳は、4切程度とする。

#### **8.7 工事写真帳等の提出部数**

写真帳等の提出部数は次によるものとする。

- 1) 工事写真帳は施工段階毎に整理し、工事完成時に1部提出する。
- 2) 監督職員が指示する写真については、指示する時期に指示する部数を提出する。

撮影時の黒板の例

工 事 名	工 事	
工 種		
種 別		
撮 影 箇 所		
撮 影 年 月 日		
施 工		

図-5.43

工事写真帳の例

<u>工 事 写 真 帳</u>		
<u>工事番号</u>	平成	<u>年度</u>
<u>工 事 名</u>		
<u>工事箇所</u>		
工 期	自	
	至	
<u>工事施工者</u>		

図-5.44

## 8.8 撮影方法

撮影方法については、下記により行なうものとする。

表-5.11

工種	種 別	撮 影 方 法
土工事	舗装切断工	(1) 舗装の切断状等を撮影する。
	人力及び機械舗装 取りこわし工	(1) 舗装の取りこわし状況等を撮影する。 (2) 舗装の取りこわし部分の舗装厚・幅等が明確にできるように箱尺等をあてて撮影する。
	機械掘削工 人力床堀工	(1) 掘削及び床堀の状況等を撮影する。 (2) 掘削深さ・上幅等が確認できるように、箱尺等を当てて撮影する。
	埋 戻 工	(3) 埋戻施工状況等を撮影する。 (4) 締め固め状況は各層(20 cm)毎箱尺等をあてて撮影する。
	土 留 工	(1) 土留の施工状況等を撮影する。 (2) 土留の深さ・上巾等が確認できるように、箱尺等をあてて撮影する。
	仕切弁室設置工	(1) 基礎・ビニル管・コンクリート枠・鉄蓋据付の施工状況を撮影する。 (2) 基礎の幅・厚さ等が確認できるように、箱尺等をあてて撮影する。 (3) 継足棒の取付が確認できるように撮影する。
	消火栓室設置工	(1) 基礎・モルタル充填・コンクリートブロック据付等の施工状況を撮影する。 (2) 基礎の幅・厚さ等が確認できるように、箱尺等をあてて撮影する。
	バルブ室設置工	(1) 基礎・コンクリートブロック据付等の施工状況を撮影する。 (2) 基礎の幅・厚さ等が確認できるように、箱尺等をあてて撮影する。
	止水栓ボックス設置工	(1) レンガ・土留板・ボックス据付等の施工状況を撮影する。
	メータボックス設置工	(1) 基礎・土留板・ボックス据付等の施工状況を撮影する。
産 廃 処 理 工	(1) 産廃処理状況が確認できるように撮影する。 (2) 運搬車両のナンバーが確認できるように撮影する。	

工種	種 別	撮 影 方 法
管布設 工 事	管吊込み据付工(人 力)宅地内配管含む	(1) 管の吊り込み・据付状況等を撮影する。 (2) 管の埋設深度(土被り、建物からの離れ)等が確認できるように箱尺等をあてて撮影する。
	管吊込み据付工(機 械)宅地内配管含む	(1) 管の吊り込み・据付状況等を撮影する。 (2) 管の埋設深度(土被り、建物からの離れ)等が確認できるように箱尺等をあてて撮影する。
	弁付割T字管穿孔工	(1) 取付後水圧試験状況を撮影する
		(2) 工事完了後の現場状況等の施工状況を撮影する。
	サドル付分水栓穿孔工	(1) サドル付分水栓穿孔状況等を撮影する。 (2) コア挿入状況等を撮影する。
管体標示防食工	(1) 標示テープの施工状況等を撮影する。 (2) ポリスリーブの施工状況等を撮影する。	
舗 装 仮復旧 工 事	路 盤 工	(1) 骨材敷均し・路盤転圧状況等を撮影する。
	アスファルト仮舗装工	(1) 舗装(瀝青材散布・アスファルト合材敷均し・転圧)状況等を撮影する。
舗装本 復 旧 工 事	準 備 工	(1) 仮復旧部分等の取りこわし・床掘・その他本復旧の、準備状況を撮影する。
	アスファルト舗装工	(1) 舗装(瀝青材散布・アスファルト合材敷均し・転圧)状況等を撮影する。 (2) 表層圧・巾等が確認できるように、箱尺等をあてて撮影する。
	セメントコンクリート 舗 装 工	(1) コンクリート打設(コンクリート敷均し・締固め)状況等を撮影する。 (2) 舗装厚・巾等が確認できるように箱尺等をあてて撮影する。
保 安 対 策	保 安 施 設	(1) 保安施設設置状況を撮影する。
		(2) ガードマンの張り付き状況を撮影する。
		(3) 許可書掲示状況

工 種	種 別	撮 影 方 法
屋 内 配 管	配 管 工	(1) 立上り管等の支持金具での固定状況等を撮影する。 (2) 保温工の施工状況等を撮影する。

【備考】表以外の工種については、監督員の指示により撮影する。

屋外 配管		(1) 給湯器等の保温工施工状況等を撮影する
----------	--	------------------------